

参考資料

(3月10日米国発報道発表資料 抄訳)

2009年3月31日

物流サービスベンダーCML社、GXS Trading Gridで電子商取引の効率化を実現

～最大手の物流サービスベンダー マークス&スペンサー社 との電子商取引で
運用コスト削減を実現、環境保護を促進～

2009年3月10日メリーランド州ゲザーズバーグ、ロンドン発—世界最大手の企業間電子商取引（B2B）ソリューションプロバイダーである米GXS, Inc.（本社：米メリーランド州、以下「GXS」）は本日、Core Management Logistics（以下、「CML社」）が、イギリス小売事業者 マークス&スペンサー社との電子取引にGXS Trading Gridを採用したことを発表しました。CML社は、GXSと複数年契約を締結し、インボイスや事前出荷明細通知書、支払通知など電子サプライチェーンメッセージをGXS Trading Grid Messaging Services経由で行います。業務をB2B eコマースに適応したことで、CML社は大幅な運用コスト削減を実現し、また環境保護への対応も促進することになります。

イギリスを拠点にビジネスを展開するCML社は、同国最大手の小売業であるマークス&スペンサー社とならび、倉庫管理、在庫調整、ネットワーク配信などを提供する大手物流サービスベンダーです。CML社は、GXS Trading Grid経由でマークス&スペンサー社から毎年約10万件の注文を電子データで受注し、出荷確認書を含めた約9万件の電子データをマークス&スペンサー社へ送信しています。

CML社 IT マネージャーのMichael Thompson（マイケル トンプソン）氏は次のように述べています。「GXS Trading Gridは、弊社とマークス&スペンサー社とのビジネス取引には欠かすことのできない重要なツールです。使用方法も分かり易く、これほど容易に利用できるツールはGXS以外ではありませんでした。GXS Trading Gridは、グローバルに展開する運用に必要なデータを正確に、またタイムリーに送受信することができる最高のツールです。受発注業務の自動化で、受発注内容の変更などに瞬時に対応することができるようになりました。これは、マークス&スペンサー社が期待している以上の成果を出せる最高のツールだと確信しています。」

物流ネットワークやサプライチェーンを展開する企業にとって、紙消費の抑制や手作業をいかに軽減するかということが、ビジネスの維持や効率化を実現させるには必要不可欠です。業務の自動化はCML社が切望していたことであり、大量の印刷、書類の郵送など紙の消費を大幅に抑制することになります。更に、業務の自動化を行うことで、運搬用トレーラの負担や運搬作業を軽減できるようになり、運搬時に使用する燃料費の削減につながります。

Trading Grid 経由で毎年 19 万件の書類を送付することは、約 1.7 トン分の紙代の節約に相当します。もし電子商取引でなくすべて紙ベースの取引を行った場合、以下のような模擬的な結果となります。

- 6 トンの木材、約 43 本の木が必要
- 7 千 BTU (British Thermal Unit : イギリス熱単位) が必要、年間の一般家庭で消費する熱量
- 1 万 lbs の二酸化炭素を排出、毎年 1 台の車を減らすことに相当
- 3 万 5 千ガロンの水が必要、オリンピックで使用されるプールの水を維持するのに必要な水量

GXS コンシューマ製品&小売事業担当 マーケティングディレクターの Bryan Larkin(ブライアン ラーキン) は次のように述べています。「小売事業者が広範囲に及ぶオペレーションや環境保護への取組みを行っている場合、その事業者のビジネスパートナーや取引先顧客もそうした取組みに同調することが求められます。書類を電子化し、業務の自動化は容易に実現することができますが、ビジネスの正確性やサプライチェーンの効率性を追求する企業にとっては非常に重要な課題となります。CML 社が業務の自動化を実現したことで、監査証跡の明瞭化、顧客満足度の向上、全体の運用コスト削減に寄与しました。」

GXS は、グローバルで 300 社以上の物流ベンダーとビジネスを展開しており、GXS Trading Grid は、企業の規模に関わらずオンデマンド サプライチェーンをサポートするグローバル B2B eコマースの統合化されたプラットフォームです。世界最大の電子商取引を実現する GXS Trading Grid は、商品・サービスのやりとり、グローバルで展開する物流運用の可視化、製品マスタ情報の管理など、ワールドワイドでビジネスを展開する 3 万社以上の企業に利用されています。GXS Trading Grid を採用いただくことで、グローバルに商取引を行う企業が商取引における手作業や重複作業を減らし、B2B インフラの統合や協業レベルを向上することが可能となります。

CML 社について

CML 社は、多種多様な貨物運送を含む、倉庫管理、在庫調整、ネットワーク配信等を行う物流サービスベンダーです。イギリス Lutterworth をビジネス拠点とし、82.296m²に及ぶ敷地にハイテク、倉庫などの設備を保有しています。それぞれの目的に応じ最新式の収納庫や倉庫を利用できるよう柔軟性に富み、経験のある人員によりバーコードでデータをスキャンし、最新悦の管理システムで遠隔操作をしながら管理しています。

GXS について

GXS は、オンデマンド SCM (サプライチェーン・マネージメント)、B2B (企業間電子商取引) におけるリーディング プロバイダーです。米フォーチュン誌の「フォーチュン 500」社の 70%に当たる企業が、世界各国で GXS Trading Grid を採用し、サプライチェーン ネットワークの拡張、倉庫プロセスの自動化、電子決済管理、サプライチェーン可視化を行っています。GXS は、グローバル ネットワークを強みとし、全世界の取引先との連携支援、B2B アウトソーシングなどのサービスを通じて、サプライチェーンの活用とビジネスのためのインテグレーションを支援します。

GXS は米メリーランド州ゲーザーズバーグに本社を置き、欧米、アジア太平洋、中東、アフリカにまたがるグローバル ネットワークを展開しています。

GXS 株式会社は、米 GXS Inc. の 100%出資による日本法人です。詳しくは Web サイト (<http://www.gxs.com/jp/>) をご覧ください。

本文中のすべての製品およびサービスは各社の商標です。

本件に関する報道関係のお問合せ先

GXS 株式会社 マーケティング

石黒 佐知子

Tel: 03-5574-7545

Email: gxs-pr@gxs.com